

事務事業調査 平成23年度	No	159	課名	市民安全課	起案者	岩瀬昭彦
			係名	防犯係	決裁者	井上裕康
事業種別	市民サービス		区分	継続	業務一覧No	2, 3, 6, 8
事務事業名	防犯広報啓発推進事業				他係名	
					他係業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 4 生活安全 2 地域安全 1 地域安全意識の啓発 3 広報啓発活動の推進			予算科目(会計)		一般会計
				予算科目(款・項・目)		10-5-70
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		1-4-2-1-3
性質区分	市の内部事務事業			法定受託事務	無	
根拠法令	有	安城市市民安全条例				
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成07年度	経過	16年目	終了	期間
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	独居高齢者や啓発を受けた市民が	～になる	防犯への意識が高まる
事務事業の内容	・ 独居高齢者への防犯ブザーの配布（平成7年度から実施） ・ 街頭啓発キャンペーンの実施 ・ セスナ機による空からの広報活動			
事務事業進捗状況	・ 防犯ブザーの配布状況 平成16年度174人 平成17年度188人 平成18年度232人 平成19年度173人 平成20年度255人 平成21年度235人 平成22年度284人			
改善・対策の履歴				
環境配慮の視点	環境目標○－基本的施策○－具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
総事業費 f=a+d+e	13,903	13,341	13,429	11,856	33,713	20,464	31,875
財源計 a	8,783	8,221	8,309	6,736	29,647	16,398	27,809
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	28,838	15,294	27,000
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0	0	0
	一般財源	8,783	8,221	8,309	6,736	809	809
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	0
職員人件費 d	5,120	5,120	5,120	5,120	4,066	4,066	4,066
内訳 従事職員数	0.68	0.68	0.68	0.68	0.54	0.54	0.54
人事課予算分人件費 e	0	0	0	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名 (活動内容)	夜間防犯パトロール	見込(単位)	243.00	242.00	283.00	311.00
				実績b(単位)	243.00	242.00	283.00	
		指標名(単位)	パトロール日数(日)	活動の総事業費f 実績	7,093	5,514	15,294	
				単位コストg=f÷b 実績	29.19	22.79	54.04	
	活動②	活動名 (活動内容)	独居高齢者への防犯ブザーの配布	見込(単位)	210.00	220.00	230.00	240.00
				実績b(単位)	255.00	235.00	284.00	
		指標名(単位)	配布人数(人)	活動の総事業費f 実績	593	572	583	
				単位コストg=f÷b 実績	2.32	2.43	2.05	
	活動③	活動名 (活動内容)	セスナ機による広報	見込(単位)	2.00	4.00	3.00	4.00
				実績b(単位)	2.00	3.00	3.00	
		指標名(単位)	広報回数(回)	活動の総事業費f 実績	90	135	135	
				単位コストg=f÷b 実績	45.00	45.00	45.00	

5(1) 成果の目標と実績

成果	成果1	指標名・指標式(単位)		年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		街頭キャンペーン実施回数(回)		見込(単位)	9.00	6.00	6.00	8.00
				実績(単位)	10.00	9.00	12.00	
				達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値		12.00	目標達成年度		平成26年度	
	成果2	指標名・指標式(単位)		年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
				見込(単位)				
				実績(単位)				
				達成状況				
		目標成果指標値			目標達成年度			

5(2) 成果1、2以外の成果

成果	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入	
	・独居高齢者への防犯ブザー配布にあわせて、民生委員に対して高齢者における防犯のポイントを説明することで、生活弱者に関する防犯上の行政課題を理解してもらうことができました。	

6 単位コストと成果の分析

分析	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
	単位コスト	・平成22年度から開始した夜間防犯パトロールにより、年間犯罪件数を前年の3,602件から3,071件と大幅に減らすことができました。
	成果1,2	・交通安全運動と同様に、年4回の安全なまちづくり運動が定着してきており、毎年多くのキャンペーンを実施しています。

7 所属長の改善案

改善	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する	
	・キャンペーンについて、対象者をよくしぼりこみ効果的な啓発活動になるようにします。	

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	・犯罪被害の防止は、何よりも個人の意識を高めることが重要なので、今後も啓発活動には力を入れていきます。